

2016年10月15日

事務局のみなさん、後藤・村上先生、

当地は数日前から突然暑さが去り、夜は毛布が要るようになってきました。
工事は粛々と進められています。

どこも手が緩められる場所ではないので、一同、緊張の連続です。

今週はゆとりがないので、写真だけお送りします。

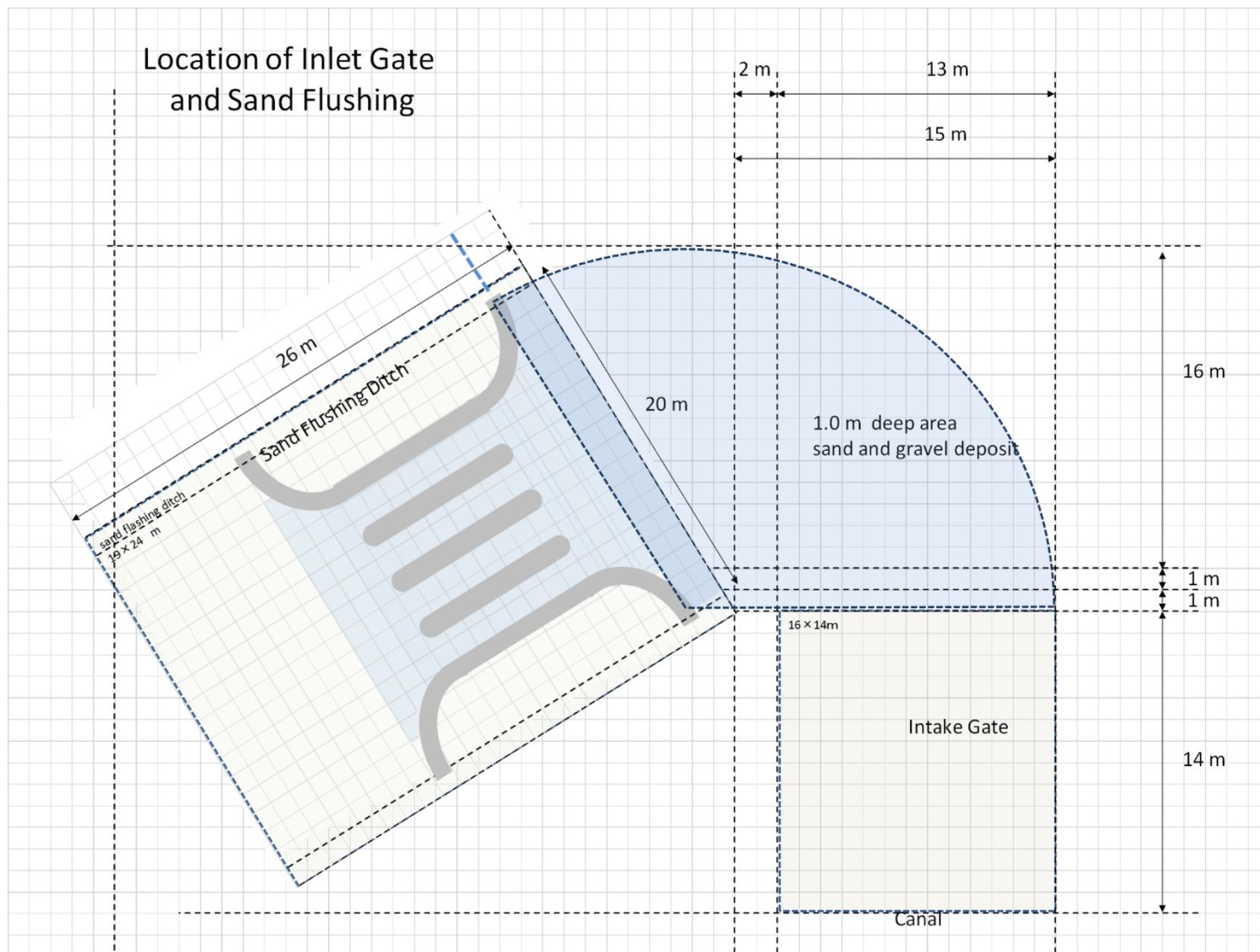
カシコート延長路の再調査は、堰が一段落してから行い、来年度のPMS＝
ペシャワール会事業の最大の取り組みにしたいと思います。

なお、河川工事や灌漑事業は時間がかかります。ガンベリの村構想もまだ途
上です。しかし、いつまでも治安のせいにしては、おそらく永久にアフガ
ン復興は画餅に帰し、再び忘れられて行くであります。

治水・灌漑は百年の計です。自分の代で終わるものではありません。実体に
肉薄しながら、長い目で事業全体を見ていただくよう願います。

2016年10月15日 記

対岸地区（マルワリード II）取水口、砂吐きの位置略図。山田堰の場合は、砂吐きの溝；幅 2.5m、深さ 2.0m で作られている。本堰では、深さ約 1.7m・幅 2m のものを 4 本並べ、砂吐きの通過流量を倍増、洪水期のクナル川の流勢に耐えようとするもの。砂利溜めを大きく取っている。



基礎工事風景。砂利吐きは河道③に向かわせ、現状の地形を大きく変えないようにしている。2016年10月14日



基礎工事でむき出された岩盤。平たく整形して基礎を置く。2016年10月14日



主幹水路の基礎工事。シルト層は0.5~1.0m程度の厚さで、すぐ強い砂利層が出てくる。水はけの良い土地で、作付け次第では成果を期待できる。

2016年10月14日



1200m 地点に達した排水路。シギ用水路の水道橋を撤去。新設を開始。2016 年 10 月 14 日



これより上流は、分厚い粘土層だが、「硬い粘土」で、まるでプラスチックのゴムのようなものである。数年前置いた籠がまだ残っている。シャベルでは掘り崩せない。
2016年10月14日



訓練所の基礎工事。硬い砂利層の上に地中梁を置き、基礎を作る。2016年10月14日



河川・灌漑工事とかなり勝手が違い、こちらはほぼ計算と図面の通りに進められるので、担当職員は気が楽である。2016年10月14日

